



えひめ



ぱしふいっくびいなすが松山港に寄港
(平成30年11月1日撮影)

Contents

- ・【現場便り】本年5、6月の大型クルーズ船寄港に向けて
- ・【現場便り】松山空港 エプロン拡張工事
- ・松山空港 空の日フェスタ2018に出展しました
- ・みんなの生活展2018に出展しました
- ・出前講座、現場見学会
- ・若手職員コラム

年頭挨拶

あけましておめでとうございます。平成31年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、12月に日本漢字能力検定協会が発表した年をイメージする漢字は「災」でした。「災」の選定は平成16年以来14年ぶり2度目とのことです。愛媛県内においては平成30年7月豪雨で多くの方々が被害を受け、今もなお復旧・復興の途にあります。幸い港湾施設での大きな被害はありませんでしたが、当事務所の海洋環境整備船「いしづち」は1ヶ月で例年の年間回収量の約1.5倍にあたる浮遊物を回収し、海上作業を通じて豪雨災害を実感しました。また、埋立浚渫協会、防災エキスパートの方々の協力を得て、水供給が途絶えた上島町に飲料水・生活用水をお届けさせて頂きました。身近に行動力のある技術的な体制があるということを中心強く思った次第です。

災害に備えるという点において、昨年8月、東予港中央地区で整備を進めて参りました耐震性を強化した複合一貫輸送ターミナルの供用を開始いたしました。発生が危惧されている南海トラフ巨大地震等の災害時には緊急物資輸送拠点として機能が発揮されると考えております。また、本施設はフェリーの大型化に合わせて整備を進めてきた施設であり、輸送力が強化されたことにより、地域経済の活性化に貢献することが期待されています。これら一連の整備に際しまして、地元関係者の方々、工事・調査関係者、関係自治体など多くの方々にご協力を頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。

冒頭に平成31年と申し上げましたが、本年4月末に天皇陛下が御退位され、5月の皇太子殿下の御即位とともに新たな時代の幕開けとなります。同月に愛媛県では最大となる11万ト級大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が松山港に初入港する予定です。国内外から来られる約2,700名の乗船客の皆様には、愛媛を堪能して頂きたいと思っています。私どもとしては、玄関口となる松山港の岸壁をリニューアルしてお迎えさせて頂きます。

このほか、地域産業の競争力強化に繋がるよう、松山港、東予港、松山空港等の整備を引き続き推進します。また、安心・安全の確保のため、災害対応はもとより、本年松山市で開催が予定されているG20労働雇用大臣会合、2020年開催の東京オリンピック、パラリンピックに向けて港湾保安において抜かりなきように関係機関と連携して点検、訓練を重ねて参ります。加えて、みなを中心とした地域振興も支援して参りたいと考えております。

改めまして、新たな元号の初年となる今年が、後世においてまさに愛媛クルーズ元年であったと言われるように、所員一丸となって微力ながらその役割を果たして参ります。引き続きご理解、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。本年が皆様にとって良い1年となりますことを祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

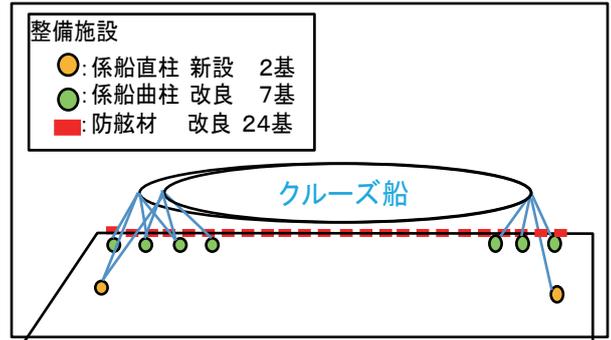
本年5、6月の大型クルーズ船寄港に向けて

松山港外港地区第1ふ頭2号岸壁(水深-10m)には、本年5月21日と6月3日に、愛媛県では初寄港となる大型クルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」が着岸する予定です。(全長290m、高さ54m、旅客定員2,706名)

当該岸壁は、エプロン(岸壁上の荷役場所)や付属施設(防舷材など)の老朽化が進んでいたため、老朽化対策にあわせて付属施設を改良し、大型クルーズ船の受け入れが可能となるよう整備を進めています。

当該岸壁は物流ターミナルとして利用されており、一度に全面を施工すると国内外の物流に支障が生じるため、工事は北側工区と南側工区に分けて実施しています。

引き続き岸壁の利用者や関係各所と調整し、安全面に十分配慮しながら工事を進めていきます。



エプロン打替の様子



取替後の防舷材



ダイヤモンド・プリンセス写真

松山空港 エプロン拡張工事

松山空港は、国内線9路線、国際線2路線を有する中四国で最も利用されている空港です。近年、利用者は順調に増加し、平成29年度には年間の利用者がはじめて300万人を超えました。

現在のエプロン(飛行機の駐機場所)は格安航空会社(LCC)の就航や既存路線の増便などにより狭隘化しており、更なる需要の取り込みにはエプロンの拡張が必要となっています。加えて、老朽化したエプロンの改良期間中、空港の運営に影響が出ないように工事を進める必要があります。

当該工事は、空港を供用しながらの工事となるため、原則、夜間工事となっています。早期完成を目指し、引き続き安全第一で確実に工事を進めていきます。

国内線9路線

札幌	2便/日
羽田	24便/日
成田	8便/日
中部	6便/日
関西	2便/日
伊丹	24便/日
福岡	8便/日
鹿児島	2便/日
那覇	2便/日

国際線2路線

ソウル	6便/週
上海	4便/週

※平成31年1月現在



松山空港全景



既設舗装版撤去の様子
(写真はH29d別エリアでの施工状況)

松山空港 空の日フェスタ2018に出展しました



日時:平成30年9月29日(土) 10:00~15:00

場所:松山空港2F 国内線出発ロビー

多くの方々に空港をもっと身近に感じていただくため、毎年9月20日は「空の日」、9月20日~30日は「空の旬間」と定められ、全国の空港等でイベントが行われています。

松山空港では、空の日の関連行事として「空の日フェスタ」が毎年開催されており、当事務所はイベントの一環として空港整備事業の紹介、松山空港の模型展示、風洞実験の実演を行いました。

松山空港を2500分の1に縮小した模型では、様々な角度から空港周辺の様子を見てもらい、空港に興味を持って頂ける良い機会になりました。風洞実験では、飛行機が浮かび上がる仕組みを当事務所の職員が解説し、子供たちが不思議そうに耳を傾けていました。

当事務所のブースの他にも、パイロットの制服を着て記念撮影できるコーナーや、駐機場で使われている車両の体験乗車、出張水族館などがあり、来場した子供たちは目を輝かせ、イベントは終日賑わいました。



パネルで空港整備事業の紹介



松山空港の模型展示



風洞実験の実演

みんなの生活展2018に出展しました



日時:平成30年10月20日(土) 10:00~16:00

場所:松山大街道商店街(1・2丁目)

みんなの生活展は、「安全・安心に暮らせる社会」の実現を目指して、様々な団体が一堂に会し、消費生活のあり方、環境への配慮、心身の健康に関する各種啓発、相談、体験を行うイベントで、例年10月に開催されています。消費者プラザ、環境プラザ、健康プラザの3つで構成されており、それぞれのブースで趣向を凝らした出展を行い、身近な問題を分かりやすく説明しています。

今年は「みんなで学ぼう!~ステキな生活へのヒント~」というテーマのもと、官民合わせて合計70団体が出展しました。

当事務所は環境プラザのなかで、商店街を訪れた多くの方々に、パネルや模型を使って海洋環境整備事業の紹介を行いました。また、ミッションを達成しながら9つのブースを回るスタンプラリーもあり、当事務所のブースでは、老若男女に「船の名前クイズ」に挑戦してもらいました。また、愛媛県マスコットキャラクターのみきゃんや、みんなの生活展マスコットキャラクターのライフくんも遊びに来てくれるなど、イベントは終始賑わいました。



パネルで海洋環境整備事業の紹介



海洋環境整備船「いしづち」の模型展示



船の名前クイズ

出前講座

西条市内の小学校3校を対象に、当事務所と高松港湾空港技術調査事務所が連携し、防災に関する出前講座を実施しました。

東予港で実施している港湾工事（耐震強化岸壁整備等）の説明や、ペットボトルを使った液状化実験を通じて防災に関する意識を高めてもらうことを目的としており、小学校の総合防災学習の一環として開催したものです。

参加した小学生たちからは、「液状化の怖さが分かった」、「家族と話して避難経路を考えておきたい」など多くの感想が聞け、液状化が自分たちの身の回りでも起こりうるということを理解してもらい、防災の意識を高めてもらうことができました。



耐震強化岸壁について説明



液状化実験

- H30.10.5（金） 西条市立庄内小学校6年生 15名
- H30.10.10（水） 西条市立吉井小学校6年生 11名
- H30.10.15（月） 西条市立三芳小学校6年生 19名

現場見学会

西条市内の小学校2校を対象に、東予港耐震強化岸壁とフェリー船内の現場見学会を実施しました。

みなとで働く人々とみなとづくりの現場を直接見ることで、自分たちの「くらし」と「みなと」の関わりを考え、みなとの仕事に親しみを感じ、理解してもらうことを目的としており、小学校の社会科授業の一環として開催したものです。

参加した小学生たちからは、「大きな船を着けられる岸壁を整備するのはすごく大変だと思った」、「フェリー内部は初めて見たが、広くて綺麗で驚いた」など多くの感想を聞くことができ、みなとをより身近に感じてもらうのではないかと思います。



耐震強化岸壁を見学



フェリー船内を見学

- H30.12.3（月） 西条市立神戸小学校4年生 29名
- H30.12.12（水） 西条市立禎瑞小学校4年生 26名

若手職員コラム

工務課 工務係員の岸岡と申します。平成29年度に新規採用で当事務所に配属となり、現在は2年目職員として日々業務に携わっております。松山暮らし自体は大学入学時からで、早いもので8年目に突入し「第2の故郷」として、思い入れ深い場所となっております。

さて、事務所業務からは少し離れた話となりますが、11/23(金祝)に「第2回西条リレーマラソン」へ事務所職員の有志で参加致しました。チーム名は「PORT LOVERS」、直訳すると「港を愛する人達」ということで、普段、職場で捧げている情熱をリレーへの活力に変え、昨年度に引き続き42.195kmをたすきリレーで時間内に無事完走することが出来ました。参加者一同、発走前はやむを得ずといった面持ちで迎えたスタートでしたが、ゴール後は達成感に満ちた笑顔に溢れており、業務から離れ、心身共にリフレッシュすることが出来たのではと思います。

今後も公私共に充実させ、「よりよい港づくり」を目指して取り組んでいきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



チーム全員で手を繋いでゴール



達成感に満ちた笑顔で記念撮影

編集後記

新年、明けましておめでとうございます。私はこの文章を書きながら、採用されてから早くも9ヶ月が経ってしまったのだと感慨に耽っています。思い返せば、2018年は色々な経験・勉強をすることが出来ました。それに伴って文章力が成長していないところが唯一の反省点です。今年は文章力がつくよう、そこだけは頑張りたいと思います。



みんなの生活展にて
来場者に説明中

まだまだ寒い日が続きますが、みなさん暖かい服装を心がけ、体調管理に気を付けましょう。

企画調整課 村上

< 事務所のご案内 >

■松山港湾・空港整備事務所

〒791-8058 松山市海岸通2426-1 【TEL】089-951-0161 【FAX】089-946-8010

■東予港出張所

〒799-1353 西条市三津屋南2-15 【TEL】0898-64-3650 【FAX】0898-65-5187

Coastline えひめ No.37 編集・発行 (紙面編集/井手上)

 国土交通省四国地方整備局
松山港湾・空港整備事務所

【e-mail (企画調整課)】 pa.skr-mtjm-i88s3@milit.go.jp
【URL】 http://www.pa.skr.mlit.go.jp/matsuyama/index.html
【海とみなとの相談窓口】 0120-497-370 (全国共通フリーダイヤル)
受付時間 9:30~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝祭日・年末年始を除く)